

曲目解説

●パガニーニ：パイジェルロの「水車小屋の娘」より
「うつろな心」による序奏と変奏曲 Op. 38 MS44

Op. : 作品番号 (Opus オーパス) を表す最も一般的な表示法です。
作曲者や出版社がつけていますが、これだけでは不十分な場合も多いので
音楽学者が独自に調査して付ける番号もあります。

MS : 音楽学者のマリア・ローザ・モレッティとアンナ・ソレントが作成した
ニコロ・パガニーニ作品目録での番号。

○パガニーニ (Niccolò Paganini 1782-1840) イタリアのヴァイオリニスト、作曲家。
ヴァイオリンの鬼才としてヨーロッパ中に名前を轟かせていました。

リスト (1811-1886) は初めてパガニーニの演奏を目にした際にその技巧に驚愕し、
「自分はピアノのパガニーニになる」と宣言して、ピアノの猛練習を始めたとのこ
とです。

○パイジェルロ (Giovanni Paisiello 1740-1816) イタリアのオペラ作曲家。
オペラを94曲も作曲しましたが、今日聞かれるのは「水車小屋の娘」など
2, 3曲程度です。「うつろな心」は「水車小屋の娘」の中のアリア。

※「うつろな心」の旋律を基にベートーベンもピアノのため変奏曲を作曲しています。
演奏時時間:約12分

●J. S. バッハ : 無伴奏ヴァイオリンパルティータ
第1番 ロ短調 BWV 1002

○バッハ (Johann Sebastian Bach 1685-1750)

BWV : Bach Werke Verzeichnis

1950年に、ヴォルフガング・シュミダーが編集、刊行した
「バッハ作品主題目録」 で用いられた番号。

パルティータは“組曲”のことです。当時よく知られていた舞曲の形式の曲が並んでい
ます。バッハの無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータは全3曲あります。

- | | | | |
|------|----------------------|----------|-----------------|
| 1 曲目 | Allemanda (アレマンダ) | - Double | アレマンダはゆっくりした4拍子 |
| 2 曲目 | Corrente (コレンテ) | - Double | コレンテは速い3拍子 |
| 3 曲目 | Sarabande (サラマンダ) | - Double | サラマンダはゆっくりした3拍子 |
| 4 曲目 | Tempo di Borea (ブレー) | - Double | ブレーは速い2拍子 |
- 覚えやすい旋律の曲です。



Double とは変奏曲のことです。4曲の舞曲の後にそれぞれ変奏曲が続くので
合計では8曲になります。

演奏時間:約30分

休憩

●タルティーニ：運弓法

コレッリのソナタ Op. 5 - 10 のガヴォットによる 38 の変奏曲
から抜粋

- タルティーニ (Giuseppe Tartini 1692-1770) イタリアのヴァイオリニスト。
18 世紀最大のヴァイオリニストの一人とされ、重音奏法 (同時に 2 つ以上の音を出す) の開発や近代的な運弓法 (弓の使い方) を確立、多くの理論書を残しました。
今回演奏される曲も、新しい運弓法を駆使した変奏曲の数々から成ります。
演奏時間 約 10 分

- コレッリ (Arcangelo Corelli 1653-1713) イタリアの作曲家。
彼の器楽曲は後に続く作曲家に大きな影響を与えました。同時代の作曲家で死後急速に忘れられたヴィヴァルディとは違い、遥かに名声が保たれていました。
ソナタ Op. 5-10 のガヴォットは有名な曲です。



●バルトーク：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Sz. 117

- バルトーク (Bartók Béla Viktor János 1881-1945) ハンガリーの作曲家。
Sz. : ハンガリーの音楽学者セールレーシ (Andras Szollosy 1921-2007) が整理した
バルトークの作品番号。

バルトークは第 2 次世界大戦の 2 年目の 1940 年にアメリカに亡命しました。
1945 年 9 月に白血病で亡くなるまでに書くことができた作品は次の 4 曲だけです。
1943 年 管弦楽のための協奏曲
1944 年 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ ← 今日演奏される曲です。
ピアノ協奏曲第 3 番 オークストレーション 17 小節が未完成
ヴィオラ協奏曲 草稿段階の未完成

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ

アメリカのヴァイオリン奏者メニューイン (Yehudi Menuhin 1916-1999) の依頼で書かれました。今日演奏される他の無伴奏ヴァイオリン曲の作曲家 (バッハ、パガニーニ、タルティーニ) はヴァイオリン演奏の実技に精通していましたが、バルトークはそうではありませんでした。そのため、逆に演奏技法上の制約にとらわれずに超ヴァイオリニ的な走句も書くことができました。

- 第 1 楽章 Tempo di ciaccona ト (短) 調。
第 2 楽章 Fuga : Risoluto, non troppo vivo ハ調
第 3 楽章 Melodia, Adagio ロ調
第 4 楽章 Presto ト調
弱音器の取り外しにも注目してください。



演奏時間：約 25 分